

インフォメーション

新しい機能を追加した「Z-GIS」 ～リリースから1年、より便利なシステムへ～

先進的な営農管理を求める農業者から注目を集めている全農の営農管理システム「Z-GIS」。昨年4月のリリースから1年が経ち、いろいろな方から貴重な意見をいただいた。それらを反映し便利な新機能を装備したので紹介する。

新機能

1kmメッシュ気象情報

スマートフォンやテレビ・ラジオから入手できる従来の気象情報は、5kmまたは20km四方（メッシュ）ごとの予報である。これに対し、「Z-GIS」が新たに装備したのは「1kmメッシュ気象情報」である。「1kmメッシュ気象情報」とは、従来の気象データをもとに標高などの要素を加味し再計算した1km四方ごとの天気予報で、全国約40万地点の天気、気温、湿度、降水、風向、風速の情

報を24時間予報・週間予報として確認できる。「Z-GIS」が表示した地図の中心で気象ボタンをクリックすると、その地域の気象情報が表示される。

地域の気象情報には、積算気温、気温変化、降水量などが表示されるが、任意の期間、例えば、田植えから現在までの積算気温、定植から現在までの畑の降水量など、栽培に必要な気象情報に絞り込んで活用することもできる。

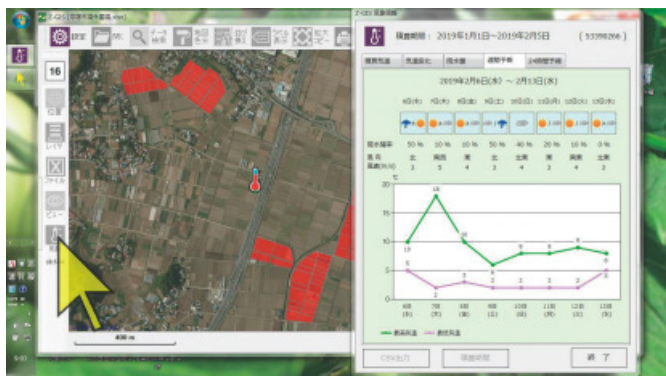
「当日や翌日の天候を確認し農薬散布の参考にする」「草刈り作業時に風が強いと刈った草が飛散をしてしまうので、風速予報を利用する」など「1kmメッシュ気象情報」の活用方法はさまざま。

新機能

上書き防止機能

これまで、多くの人が同時に接続できる「Z-GIS」のファイルは、データの管理が難しかった。誰かがファイルを開いているとき、同時にアクセスした人が記録したデータを消してしまう可能性もあった。

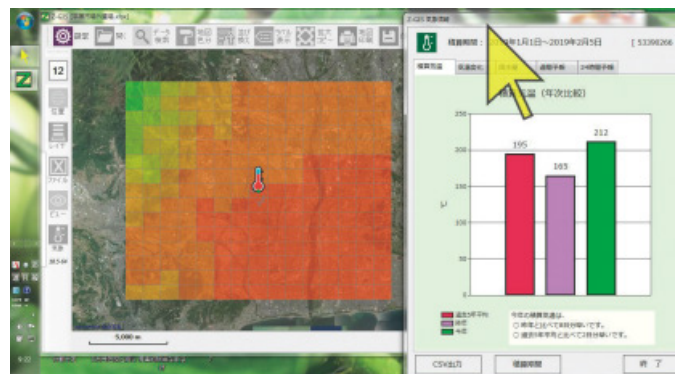
新しく装備した「上書き防止機能」は、「Z-GIS」クラウドからデータを開く際、ほかの人がファイルを開いていると当該データを赤文字で表示し、データが“使用中”であることを教えてくれる。さらに、そのデータを開くと、警告とともに上書きできないことが表示される。そのまま、データを書き込み、上書き保存をしようとすると同名では保存できないことがわかり、別名での保存を知らせてくれる。



▲地点モードは、気象ボタンを押すと表示されている地図の中心点の「1kmメッシュ気象情報」が表示される
ダイアログボックスが開き、タブにより週間予報、24時間予報などが選べる（表示中のデータは開発中のものであり、実際の仕様とは異なる場合がある）



▲地点モードでの積算気温は、表示されている地図の中心点の過去5年の平均値、昨年、今年のデータが表示され、積算期間は自由に設定できる
気温の変化・降水量についても同様に表示できる（表示中のデータは開発中のものであり、実際の仕様とは異なる場合がある）



▲地域モードは、気象ボタンを押すと地図上に「1kmメッシュの気象情報」を色分けで表示し、地域による温度の違いを「見える化」できる
積算温度・気温の変化・降水量についてそれぞれ表示が可能である（表示中のデータは開発中のものであり、実際の仕様とは異なる場合がある）

新機能

ポリゴンのないExcelデータを読み込む機能

今までの「Z-GIS」は「GIS Excel」というポリゴンデータ（地図上に圃場の形を表すためのデータ）を含んだデータでなければ、読み込むことができなかった。また、既にMicrosoft Excelで圃場を管理しているユーザーは、別につくったポリゴンデータと、今まで自分が管

理していたExcelデータをMicrosoft Excelで結合しなければ、「Z-GIS」に反映することができなかった。

新しく装備した「ポリゴンのないExcelデータを読み込む機能」は、今まで自分が管理していたExcelデータを「Z-GIS」で直接読み取り、ポリゴンの追加でデータとポリゴンを組み合わせることが可能となる。既に多くの圃場をExcelデータで管理している集落営農・農業法人の皆さまに役立つ機能だ。

「Z-GIS」の特長

データをMicrosoft Excelで保管・管理

「Z-GIS」は、Microsoft Excelを使用しているの、簡単に入力できるうえ、ほかのシステムとの連携・乗換も可能である。

さまざまな営農管理情報を地図上に表示

作物ごとに圃場を色分けすることや、栽培面積・品種など、いろいろな情報を地図上に表現できる。例えば、農作業を受託した圃場の地図を現地で確認できる。また、作業内容と作業者、作業日時などを表示すれば、目印の少ない圃場でも作業場所が特定でき、間違いや確認のための時間を省力化することができる。

地図のプリントアウト

営農情報を表示した大きな白地図は、農家が自分の圃場を確認するのに役立つが、作成するのにかなりの時間を必要とする。「Z-GIS」は、地図データを自在に作成でき、ポスターサイズの地図データの作成が可能である。大判プリンターで印刷するだけで、簡単に大きな白地図が作成できる。また、A4サイズに分割して印刷することもできる。

クラウドストレージによるファイルの保管・共有

「Z-GIS」で作成したデータは、専用のクラウドストレージに保管される。クラウドを使い、パソコン、スマートフォン、タブレットでデータを操作することができる。同じ情報を多くの人が共有することができるので、「Z-GIS」をスマートフォンで確認しながら圃場を巡回し、その場で生育状況を記録することも可能である。

手頃な利用料金

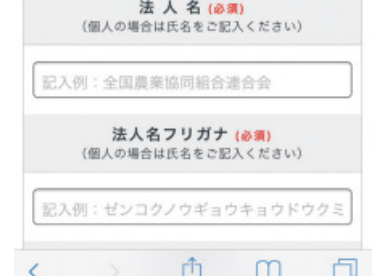
登録圃場100圃場ごとに月額200円が課金され、100圃場まで1年間の利用料金は2,400円である。登録が2,000圃場を超える場合は、月額定額4,000円とさらにお得である。また、31日間有効の「1ヵ月間お試しID」もあり、無料で1ヵ月使用することも可能である。

「Z-GIS」の公式Webサイト開設！

2018年1月には、「Z-GIS」公式Webサイトを開設した。「Z-GIS」の機能情報はもちろん、料金表示、申し込み方法、ダウンロード方法、機能マニュアル、活用事例、無料期間の紹介、Q&Aなど、使用者の皆さんが知りたい情報を掲載している。



▲2018年1月リニューアルした「Z-GIS」の公式Webサイトは、スマートフォン・タブレットからも検索できる



▲インターネットによるオンライン申し込みも可能となった

また、インターネットによるオンライン申し込みも可能となり、パソコンはもちろん、スマートフォン・タブレットから、必要事項を記入するだけで、ID・パスワードの入手が可能となった。既に「Z-GIS」を導入している方も、これから導入しようとお考えの方も、まずは「Z-GIS」の公式Webサイトをご覧ください。

詳しくは下記URLにアクセス

<https://z-gis.net/99/>



●「Z-GIS」に関する問い合わせ先
全農 耕種総合対策部 アグリ情報室 ☎03-6271-8278

【全農 耕種総合対策部 アグリ情報室】